



## — 卯野修三 議員活動報告 —

秋も深まって参りました。日頃お世話になりありがとうございます。  
さて、能美市議会議員・卯野修三の市議会活動報告の第4号が出来上がりました。  
おかげさまで、この10月22日から市議として3年目に入りました。  
今回は、ロシア・シレホフ研修報告と本年6月・9月議会の一般質問です。  
今後ともご指導・ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

**「勇気・元気・やる気」**

令和元年秋 能美市議会議員 卯野 修三

● 議 会 (令和元年10月1日現在)  
(スローガン) 勇気・元気・やる気  
(議会) 無所属 1期  
産業経済常任委員会  
予算決算常任委員会  
広報特別委員会



10月5日(土)に寺井・奥野会館にて  
第3回 市政報告会を開催しました。  
沢山のご参加ありがとうございました。

## 能美市の姉妹都市・ロシア・シレホフへ!!

2019 (令和元年) 7/28 (日) ~ 8/2 (金) 5泊6日で、能美市公式訪問団 (細川 喜孝副市長、南山 修一市議会議長含め4名) の方々と共に、能美市シレホフ親善協会使節団 (北村 周士市議含め4名) の1人として、能美市の姉妹都市ロシア・イルクーツク州・シレホフを訪問し研修してまいりました。以下報告文を記載します。

**ズドラーストヴィチェ!**  
(こんにちは)



### 姉妹都市 ロシア・シレホフ訪問 報告書

歴史を調べると、昭和42年2月に、日ソ協会根上支部が設立され、昭和51年9月に旧根上町とシレホフ市が姉妹都市となり、平成17年からは、能美市が引き継いでいます。

旧根上町長 森茂喜氏、初代シレホフ市長 アルヒーポフ氏の固い友情と信頼関係の構築



シレホフ市で記念植樹するメンバー

により、その後も毎年の中学生対象の、少年少女総合派遣など、草の根交流が将来を見据えて、拡がっていることも確認できました。

今回の訪問団・使節団計8名は、たまたまながら、旧根上町以外の方ばかりでしたので、各々は、余計にシレホフとの交流の深さを新鮮に体感できたことと拝察します。

シレホフ地区のモーディン地方行政長官、リーピン・シレホフ市長、ボズニャーク・シレホフ能美友好協会長、そしてシャドリ市議会議長は、シレホフ地方が

18年ぶりの豪雨による水害にもかかわらず、ほぼ連日、私共の行政視察に同行してくださり、私共日本人が長けていると思われた「おもてなし」の心を逆に教えられる場面が多く、勉強になりました。

又、今回の視察で関心のあった東シベリア最大級のアルミ会社の工場長が、「我が工場は従業員の幸せを一番に考え、会社の発展がシレホフ市の発展につながるつもりで、経営している」との話を聞き、感銘をうけました。

さらに、工場長は、会社の存在価値として、CSR (企業の社会的責任) とメセナ (企業の文化・芸術活動) に、さらに力を入れていきたいとも話されていました。

そして、訪問の後半には、森茂喜元根上町長、アルヒーポフ初代シレホフ市長、などのお墓参りもさせていただきました。

ロシアのことわざにも、「記憶の中に生き続けるかぎり、その方は生き続ける」という言葉がありますが、今後とも、このお二人は私共、そして、シレホフの方々の心の中に生き続けることでしょう。そして、私共は、お二人の遺志 (意志) を継続していくべきと思いました。

又、話変わって、観光については、世界最深のバイカル湖や伝統民族タリツィー村など見学しましたが、現地でも、いまや観光は、見る観光ではなく、体験型観光となっている場所が多く、能美市でも取り入れるべきと思いました。

最後に、私は26年前、旧寺井町が九谷焼PRのため、大手旅行会社のキャンペーン企画「ジャパンウィーク」で、使節団の団員として、商工会青年部卒として参加したことがある関係で、下記のことを提案したいと思います。

今後、シレホフとの草の根交流をさらに進めていくうえで、現在は、行政メンバーと親善協会メンバーが中心となる訪問団ですが、今後は、市内の町会、商工会、文化協会、体育協会、女性会、壮年団などの市内のリーダーの皆様に、親善協会にまず入会していただき順に訪問できる機会を設けるなど、すそ野を拡げていくことも大切ではないかと思いました。

以上5泊6日の研修は、実り多きものでした。

「バイカルの湖より深き、白山の山より高き、能美とシレホフの相互愛  
我ら、両市の架け橋とならん」 令和元年8月吉日 能美市議会議員 卯野 修三

●ロシア連邦・イルクーツク州・シレホフ市  
イルクーツク州の南西20kmに位置し人口48,000人  
(2017年)の都市。工業地区と住宅地区に二分され  
シベリア最大級のアルミニウム工場がある。



イルクーツク市内の観光研修



シレホフ市の市長並びに議長と懇談



イルクーツク市に平成23年に完成した「森茂喜記念広場」にて

**質問** 加賀市※・小松市※・金沢市※にも開設された子どもの屋内交流施設の設置予定は？

※加賀市(かがにこここパーク)、小松市(カブッキーランド)、金沢市(あめるんパーク)

**答え** 井出敏朗 市長  
・本市の児童福祉施設は、それぞれ特徴をもち、好評であり、新たな全天候型屋内交流施設の建設は財政的に厳しい。



**質問** 市は移住定住に力を入れているが、2015年度以降の移住者数とILAC(いしかわ就労・定住総合サポートセンター)との連携は？

**答え** 橋場和彦 企画振興部長  
・移住定住制度を活用して能美市に移住した方は2018年度までの合計で374世帯1,127人です。又、ILACからの問い合わせ窓口を一本化して相談体制を構築している。

**質問** 県が就職協定を締結している32の大学と市との連携は？

**答え** 小坂清俊 産業交流部長  
・能美市の企業を含めた県内企業との意見交換会の開始やILACを通じて情報発信をしている。

**質問** 小中学校でのふるさと愛を醸成する教育は？

**答え** 谷口 徹 教育長  
・市内の教育資源を活かしたふるさと学習を実施し、県立の寺井高校とは、市と連携した取り組みを毎年推進している。

**質問** 過去5年間の農地転用数とその内容は？

**答え** 小坂清俊 産業交流部長  
・合計412件で、住宅用地が265件と全体の64%を占めています。

**質問** 今後の農地転用に向けた考え方と1998年に施行された用途地域以外の農振農用地でも住宅建設が可能となる優良田園住宅制度についての見解は？

**答え** 小坂清俊 産業交流部長  
・農地法の趣旨に従い、農業上、生産性の低い農地から順に転用し、優良農地を確保したい。そして、優良田園住宅制度については、住宅建設の基準である敷地面積が300㎡以上、建ぺい率が30%以下という制約や、青地農地でも転用可能な農地が限定されているなど、制約・限定が多く、石川県内では同制度の利用がまだありません。



手話で表現した6月質問のまくら(冒頭)での発言!



5月1日、新しい元号がスタートしました。「令和」です。但し、早くやると「新しい」という意味になります。上に向けてやると「叶わなかった」「出来なかった」になります。優しく、梅のつぼみが、まさに開くように「令和」を、しっかり覚えてまいります。本日は、新元号の「令和」のような、梅のつぼみが膨らむような質問をさせていただきます。尚、6月議会では議会最終日に、会派大志を代表して賛成討論の機会をいただきました。(通算2度目)



能美市の手話講座に、昨年の入門講座に続き本年は「基礎コース」を毎週水曜日に11月まで受講しています。

**質問** ◆南加賀の観光振興◆ 南加賀が一体となれる「廃線歩き※」をふるさと愛・産業遺産の観点から観光の目玉にしてはどうか。

**答え** 井出敏朗 市長  
・廃線歩き(ロストライン・ツーリズム)は、「あるもの活かし」として観光誘客の観点からも大切。建設が進んでいる「能美市博物館」にも「のみ電の時代」の部屋を設けPRしたい。そして、鉄道関連遺産をもつ南加賀の他の自治体と有機的に結びつけ、「オール加賀会議」にも提案していきたい。  
※南加賀の電車:南加賀の私鉄は、昭和30年代~50年代にかけ、一部を除き順次廃線となりました。



昭和55年に廃止された北陸鉄道能美線(新寺井(能美根上駅)一鶴来)

**質問** のみ検定の現状と今後の方向性を問う。

**答え** 小坂清俊 産業交流部長  
・過去5回の累計受験者が478名、合格者126名。市内受験者が72%を占める。今後は、初級から上級まで3段階設ける。参考書も寺井高校生などの協力で、作製中。試験時期も検討したい。合格者が活躍できる仕組みも検討したい。

**質問** ◆寺井高校支援◆ 本年3月過去最低の入試倍率になった能美市唯一の公立高校である寺井高校に対し、今後の支援策を問う。

**答え** 谷口 徹 教育長  
・現状は、寺井高校教育振興会に部活動および講師に謝金等で支援している。今後とも、寺井高生の市への貢献・活躍(例・市の公式キャラクター「ひぼ能ん・ゆず美ん」のデザイン原案は寺井高生が手がけた)を、広く市民に知らせ、能美市にとって大切な高校であることを浸透させていきたい。



本年54年目を迎えた石川県立寺井高校

**所感** 最後に所感として、私は市からの支援を含めた深いご理解は今後とも、いただきつつも、寺井高校本体がどのような学校を目指すのかを学校本体が明確に決めることにより、行動が変わり、結果も変わっていくと思います。そうなれば地域の方々の寺井高校を見る眼が変わってくるはず。まず自助努力を、私自身(現在、同窓会長を務めています)も含め同窓会員と共に、実施して参ります。

手話で表現した9月質問のまくら(冒頭)での発言!



能美市議会議員 卯野 修三

〒923-1121 石川県能美市寺井町ラ16  
TEL (0761) 58-5811 FAX (0761) 58-5812



メルアド uno8656@tvk.ne.jp

http://www.tvk.ne.jp/~uno0905/

うの修三

検索

卯野修三

芸術の秋です。先日、能美市浅蔵美術館で「KUTANism」がスタートしました。さて、石川県では金沢が観光で有名です。兼六園・ひがし茶屋街・金沢駅の鼓門、そして北陸新幹線で沢山の人が出でます。金沢は谷口吉郎・吉生記念金沢建築館のような新しいアトラクションが毎年生まれ、古いものと新しいものが存在します。それが、金沢の楽しくてすごいところです。まるで金沢は、北陸のディズニーランドです。